

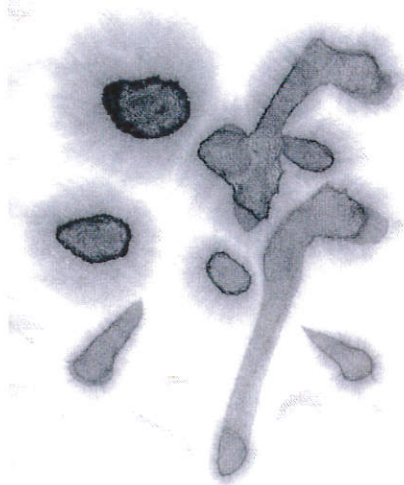
ASLO

Association for the Sciences of Limnology and Oceanography

Voyages of Discovery

先進陸水海洋学会日本大会 (琵琶湖大会)

2012年7月8日～13日



開催場所： 滋賀県大津市

(びわ湖ホール・ピアザ淡海・コラボしが21)

絵：Brian Williams

書：青山浩之

2012 ASLO Aquatic Sciences Meeting

最前線の研究者が湖都大津へ！

ASLO(先進陸水海洋学会)とは

先進陸水海洋学会 (Association for the Science of Limnology and Oceanography) はアメリカ合衆国で設立され、現在では世界58カ国に3800名強の会員がいます。会員は北米を除けば日本が最多であり、淡水および海洋に関する学術的課題や環境問題を扱う学会として世界最大です。

ASLO日本大会

2000年より4年に1度ASLO国際会議が開催されるようになり、デンマーク、スペイン、フランスに次いでアジアで初めて滋賀県でこの国際会議が開催されることになりました。国内外から約2000名の研究者や学生が大津市に集まり、最先端の研究発表や議論を活発に行う予定です。また研究者と市民が交流できる場も設置する予定です。滋賀県や大津市の特性を活かしたイベントやツアーを通じ参加者たちに日本の魅力を余すところなく伝えたいと考えています。

なぜ琵琶湖での開催なのか

琵琶湖は日本最大であり世界的にも古い湖の一つ
多数の固有生物種を含み海外の研究者も注目

交通の便がよく、
周辺には多くの宿泊施設も

琵琶湖周辺には水環境に関する
研究施設・学術施設が多く存在

水質汚染、生物多様性の喪失、温暖化の影響など
世界の河川・湖沼・海洋が抱える課題の集約的顕在化



2010年11月第1回科学委員会(大津にて)

Lake Biwa, Shiga, Japan

2012 ASLO Aquatic Sciences Meeting

2012年7月8日(日)から13日(金)まで

滋賀県立びわ湖ホール・ピアザ淡海・コラボしが21にて開催

開催中予定されている内容

- 特別セッション(抜粋)
 - ・ 河川、湖沼、地下水を経由した、陸から海までの溶存有機物の動態
 - ・ 津波に脆弱な沿岸住民の実態
 - ・ 河川から沿岸海洋までの統合的な生態系サービス
 - ・ 淡水におけるバイオモニタリングの自動化
 - ・ 福島第一原発事故による海洋への影響
 - ・ 里山と里海の統合的管理
 - ・ 地球温暖化や環境変化の指標としての大湖沼
 - ・ 最新の潜水ロボット工学
 - ・ 水圏生態系の食物網と生物群集
 - ・ 沿岸域の生物多様性とその維持機構 など
- 一般セッション(抜粋)
 - ・ 河川、湿地、河口域における諸問題
 - ・ 海洋物理学と陸水学
 - ・ 底生生物の生態学
 - ・ 大型水域植物研究
- 公開シンポジウム
- フィールドトリップ(地元見学ツアー)
- 企業展示
- 歓迎会、晚餐会、文化交流アトラクション など



伊能忠敬1805-1806

大会スケジュール

	7月8日(日)	7月9日(月)	7月10日(火)	7月11日(水)	7月12日(木)	7月13日(金)
8:00						
8:30						
9:00		セッションI 口頭発表	セッションI 口頭発表	セッションI 口頭発表	セッションI 口頭発表	セッションI 口頭発表
9:30						
10:00		コヒ-ブレイク	コヒ-ブレイク	コヒ-ブレイク	コヒ-ブレイク	
10:30						
11:00		本会議講演・受賞講演	本会議講演・受賞講演	セッションII 口頭発表	本会議講演・受賞講演	コヒ-ブレイク
11:30						ヘアストン氏による 講演・受賞講演
12:00		ポスター発表 昼食	ポスター 発表 昼食	ポスター発表 昼食	ポスター 発表 昼食	閉会
12:30						
13:00	参加受付	セッションII 口頭発表	セッションII 口頭発表	セッションIII 口頭発表	セッションII 口頭発表	
13:30	公開シン ポジウム (気候変動)					
14:00		コヒ-ブレイク	コヒ-ブレイク	コヒ-ブレイク	コヒ-ブレイク	
14:30	坂田明氏 演奏会					フィールドトリップ
15:00		セッションIII 口頭発表	セッションIII 口頭発表	セッションIV 口頭発表	セッションIII 口頭発表	
15:30						
16:00		アトラクション	アトラクション	ポスター発表 その他活動	アトラクション	
16:30	開会の辞・会長挨拶 ハッチンソン賞 レッドフィールド 特別功労賞	ポスター 発表 その他活動	ポスター 発表 その他活動		ポスター 発表 その他活動	
17:00						
17:30						
18:00						
18:30						
19:00						
19:30						
20:00	レセプション (歓迎会)					
20:30						
21:00						

Lake Biwa, Shiga, Japan

2012 ASLO Aquatic Sciences Meeting



2010年11月第1回科学委員会(大津にて)

主催：ASLO

日本大会実行組織

大会共同議長

国内委員会委員長

- 木暮一啓 - 東京大学 大気海洋研究所
占部城太郎 - 東北大学大学院 進化生態科学講座
熊谷道夫 - 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
山室真澄 - 東京大学大学院 環境学研究系

科学委員会

Jonathan J. Cole
Jim Elser
Jean-Pierre Gattuso
Chih-hao Hsieh
Hae Jin Jeong
Sally MacIntyre
Chiaki Motegi
Shin-ichi Nakano
Bo Qiu
Dietmar Straile
Shigenobu Takeda
Warwick Vincent
Wen-Xiong Wang
Jing Zhang

- ケアリー生態学研究所・アメリカ合衆国
- アリゾナ州立大学・アメリカ合衆国
- ヴィルフランシュ海洋学研究所・フランス
- 国立台湾大学海洋研究所・台湾
- ソウル大学校・韓国
- カリフォルニア大学サンタバーバラ校・アメリカ合衆国
- ヴィルフランシュ海洋学研究所・フランス
- 京都大学生態学研究センター・日本
- ハワイ大学マノア校・アメリカ合衆国
- コンスタンツ大学・ドイツ
- 長崎大学・日本
- ラバル大学・カナダ
- 香港科技大学・香港
- 華東師範大学・中国

後援

日本陸水学会
日本海洋学会
日本生態学会
水文・水資源学会
財団法人国際エメックスセンター
日本プランクトン学会
日本微生物生態学会
公益社団法人土木学会
応用生態工学会
社団法人日本水環境学会

一般社団法人ダム工学会
日本海水学会
日本ベントス学会
海洋調査技術学会
日本地球化学会
公益社団法人日本船舶海洋工学会
社団法人日本気象学会
社団法人日本雪氷学会
日本地形学連合
日本サンゴ礁学会

日本藻類学会
日本魚類学会
社団法人日本地理学会
社団法人日本リモートセンシング学会
公益社団法人日本地下水学会
日仏海洋学会
公益社団法人日本地球惑星科学連合
財団法人リバーフロート整備センター
公益社団法人日本河川協会
一般社団法人日本ロボット学会
公益社団法人日本水産学会

ASLO

検索

<http://aslo.org/>

先進陸水海洋学会 (ASLO) 日本大会 国内委員会事務局

〒520-0022 滋賀県大津市柳が崎5-34

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 大型共同プロジェクト研究室内

TEL: 077-526-4690 E-mail: aslo_biwako@iberi.jp